

令和6年度 びわこ学院大学短期大学部

数理・データサイエンス・AI教育プログラムの自己点検・評価

びわこ学院大学短期大学部における「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」の自己点検・評価を実施した結果を以下に示す。

【実施体制】

運営責任者	教務部長
実施組織	教務委員会
プログラムの改善・進化・自己点検	教務委員会

【自己点検・評価の結果や今後の取り組みなど】

＜学内からの視点＞

自己点検・評価項目	評価の結果や今後の取り組みなど
教育プログラムの履修・修得状況	令和6年度の本プログラムの履修者数は40名で、修得者数は37名（修得率：92.5%）であった。しかし、健康福祉コースでは履修者数が0名であったので、今後は健康福祉コース学生も興味を持つように内容等を工夫し、履修者数の増加を目指す。
学修成果	本プログラムの構成科目である「リテラシー入門」と「パソコン活用Ⅱ」の成績評価は、どちらも平均点が約80点であった。今後もこの結果を維持しつつ更なる平均点の向上を目指していく。
学生アンケートによる学生の内容理解度	本プログラムの構成科目である「リテラシー入門」と「パソコン活用Ⅱ」の授業評価アンケート結果は、内容理解度の設問で4段階評価のどちらも平均3以上であった。今後もこの結果を維持していく。
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	本プログラムの構成科目である「リテラシー入門」は、本学の卒業必修科目であり、また、同じく「パソコン活用Ⅱ」においてもキャリアデザインコースでは卒業必修科目であるため、アンケートに他の学生への推奨度を問う設問は設けていない。しかし、「この授業を通して、新たな知識を得たり、新たな考え方を身につけることができた。」や「総合的に判断すると、この授業を受講して満足した。」の設問では、4段階評価の平均が「リテラシー入門」はいずれも3.3以上、「パソコン活用Ⅱ」はいずれも3.5を超える高い評価を得た。今後は、「パソコン活用Ⅱ」の履修者が少ない健康福祉コースに高い学生満足度を伝えつつ、AI等に興味を持つよう授業内容を工夫し、他の学生へ推奨してもらえるような授業となるように改善していく。

全学的な履修者数・履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	本プログラムの構成科目である「リテラシー入門」は、本学の卒業必修科目なので、全学的な履修対象科目である。しかし、もうひとつの構成科目である「パソコン活用Ⅱ」は、健康福祉コースでは、選択科目であるため履修率が低い。その対策として、履修ガイダンスなどを通じて、数理・データサイエンス・AI 認定プログラムの説明を強化していく。
------------------------------	---

<学外からの視点>

自己点検・評価項目	評価の結果や今後の取り組みなど
教育プログラム修了者の進路・活躍状況、企業等の評価	令和 6 年度からの実施であり、まだ本プログラムの修了者で卒業者はいない。
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等の検討	今後、本学の数理・データサイエンス・AI 教育への期待や要望などについて、卒業生の就職先などにアンケートやヒアリングを実施する。そのため、アンケート実施に向けた協議を関連部署と行う。